

八中 学びの スタイル



み

見通す

今日の学習のめあてや流れをつかんで、「今日は何をがんばるのか」を見通します。

む

向き合う

自分の考えをもとめたり、自分の言葉で説明しようめしたりして、学びにしっかり向き合います。

ろ

論じ合う

友達と意見を出し合ったり、先生の問いかけで考えを深めたりして、学びを広げていきます。

や

やりとげる

今日の学習をふり返って、「できたこと」「わかったこと」を確かめます。

ま

前へ進む

ふり返りをもとに、「次はどうするか」を考えて、学びを前へ進めます。

八中型授業 学びの 8サイクル



み

① 基礎的・基本的な内容の理解と確認

基礎的・基本的な内容の理解を確かめる場面があり、確認→活用→振り返りの流れが意識されている

み

② 学習規律・学習環境の整備

落ち着いて学習に向かえる環境が整い、学習規律が確立されている

む

③ 自分の考えをもつ場面の設定

生徒が自分の考えをもつ時間・活動が設定されている

る

④ 対話・協働による学びの深まり

生徒同士が意見を交流し、比較・関連づけ・協働的な学びが見られる

る

⑤ 思考を生み出し考えを深める発問の工夫

生徒の思考を促し、考えを広げ・深める発問が行われている

や

⑥ 学習の過程や成果の振り返り

「何ができるようになったか」を明確にする振り返りが行われている

ま

⑦ 次の学びへの見通しづくり

振り返りが「次にどう生かすか」につながり、次時の学習への見通しがもてている

ま

⑧ 主体的に学ぶ姿（総合観点）

生徒が自ら学びに向かい、考えようとする姿や他者と関わる姿が見られる